



穏やかな街並の中で、地域の人たちと共に暮らす喜びを。

計画予定地の状況



敷地周辺

今回の計画地は市街化調整区域ですが、周辺には住宅の街並みがたくさんありにぎわいある住宅街です。

計画地の周辺には雑貨店や美容院などもあり、また、少し離れたところにも大型スーパーマーケット等があり大変便利なところです。

公園なども整備されており利用者の散歩など日常生活が地域の人たちの中で過せる穏やかな場所です。



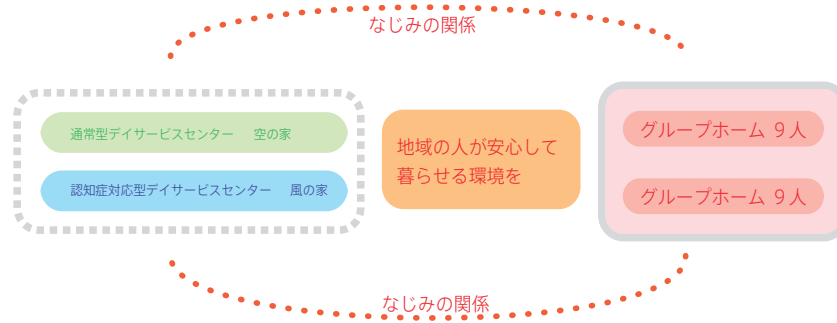
全体構成

建物概要

所在地：倉敷市玉島柏台5丁目
5000番198
用途地域：指定なし（市街化調整区域）
敷地面積：約955.6㎡
容積率：200%（56.0%）
建蔽率：60%（30.1%）
建物用途：認知症対応型共同生活介護
（グループホーム9室 ユニット×2）
構造規模：木造2階建
最高高さ：7.5m

面積表

		延べ床面積		
2F		268.27㎡	建築面積	293.80㎡
1F		268.27㎡		
合計		534.34㎡		



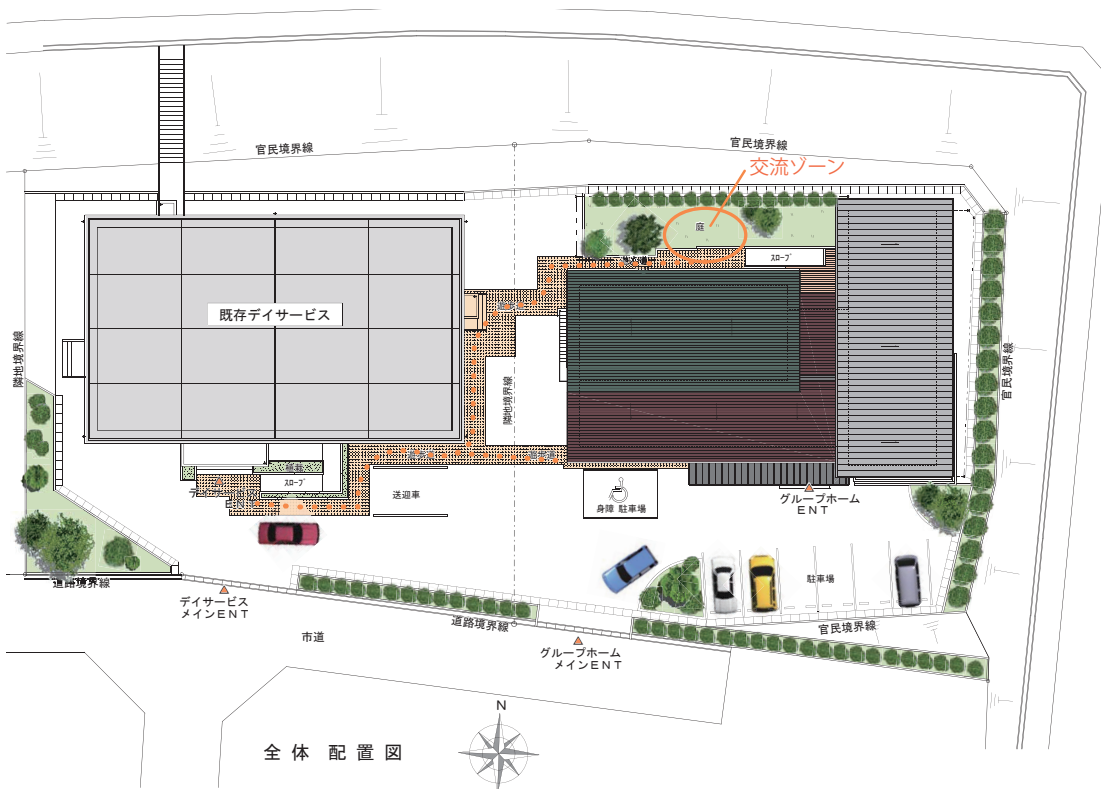
設計コンセプト

1. ユニットはひとつの家

グループホームは言葉からみても家そのものですが、現状はどうでしょうか？
わたしたちは本来ある**家らしさ**にこだわり、**穏やかな街並**の中でその人らしさを大切に**普通の暮らし**を送れるような建物を計画します。

2. 利用者に負担のかからない計画

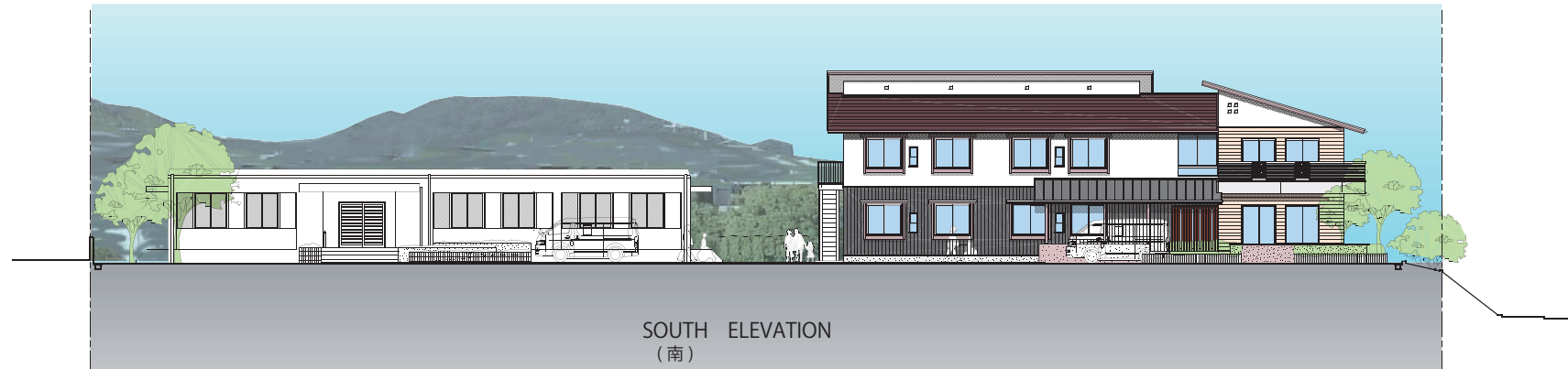
認知症を患った高齢者にとっては住環境の変化で**リロケーションショック**が起こると言われています。
わたしたちは運営上では隣のデイサービスとの関係を深め、建物上では内部をより家らしいしつらえで**なじみの空間**を作り、やさしい計画を提案します。



※家庭的なつくりのイメージ



立面図について



NORTH ELEVATION
(北)



EAST ELEVATION
(東)

立面の特徴 外観について

グループホームは施設でなく家であるべきだと思います。しかし、残念ながら一般的な2階建2ユニットのグループホームは、どうしてもボリュームが大きくなり周辺に対して圧迫感を与えてしまいます。

そこでわたしたちは右の写真のように考えました。



※外観イメージ



※外観イメージ

屋根を幾つかに分割して配置し、外壁仕上げや形状を工夫して、小さな家らしい箱がいくつかが混在するようにしました。これらの工夫により『大きな建物でなく、小さな建物の集まり』のように見せることができ、ボリュームが抑えられ、地域に溶け込む親しみある建物となり、近隣の方々が気楽に訪れることが出来る施設となります。